

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

January 2015

年4回発行(1, 4, 7, 10月)

平成26年度 第20回全日本フットサル選手権大会千葉県大会 決勝戦

2014年11月24日(月)14:00キックオフ ~ 大網白里アリーナ ~

FCmm 6(4-0, 2-1)1 O-PA

主審:藤崎 翔平氏、第2審判:高萩 守氏、第3審判:木村 尚仁氏、タイムキーパー:木村 拓氏 (文中敬称略)



(左から 木村拓氏、高萩氏、藤崎氏、木村尚仁氏)

Q. この大会に向けた準備と試合前の気持ちを教えてください

藤崎:千葉県No.1を決める大会だったので、体調管理に心掛け、決勝前の準決勝2試合も観戦できたので、試合展開等のイメージトレーニングをして試合に臨みました。

一昨日から昨日まで、栃木県でフットサル2級審判員の研修会に参加してきましたが、インストラクターから指導してもらったことを改善できるようにしようと考えていました。

高萩:準決勝が終了して、急に割当て変更のため、多少緊張感はありましたが、他の審判員と協力して行う事が出来れば、良いパフォーマンスが発揮出来ると思いましたので試合にはいつも通りに入りました。

木村(尚):当初の割当てから当日の割当て変更となったので、気持ちを切り替えて臨みました。

木村(拓):審判は、一つ一つの試合の積み重ねでしか、上達できないと思っていますので、この大会だからと気負うことなく、日々を大切に今日を迎えました。小さなミスを含めて、ミスをして、他の審判員に迷惑をかけないように考えて試合に臨みました。

目次

・決勝審判員インタビュー	・・・1～5	・新3級審判員実技研修会	・・・13
・若手審判員育成プロジェクト	・・・6	・シニア審判員研修会	・・・14～15
・審判講習会のお知らせ	・・・7～8	・女子部初心者研修会	・・・15
・2015年度2級、3級昇級試験について	・・・8～11	・2015年度永年功労表彰対象者募集	・・・16
・3級インストラクター更新講習会	・・・11	・郡市協会だより	・・・16
・表彰者および昇級者の紹介	・・・11	・日本サッカー協会からのお知らせ	・・・16
・ユース・若手審判員研修会	・・・12～13		

Q. 決勝戦を終えて、感想を教えてください

藤崎:自分の長所である動きの速さは、最大限発揮できたと思いますが、自分の中で、判定の基準等で納得のいくゲームができなかったので、見つかった課題を改善していきたいと思いました。試合は、両チーム共、お互いをリスペクトしながらフェアプレーで行われたので、スピーディーで良い試合になったと感じました。

高萩:準決勝に続いての審判でしたが、審判員のチームワークと他の審判員が話しているように、選手の皆さまのリスペクトもあり、大きなミスもなく終了し、安堵しています。

木村(尚):主審と第2審判が上手くゲームコントロールしてくれたので、やりやすかった。

自分の課題としては、ピッチ担当の両審判をもっとサポートできるようにしたいと思いました。

木村(拓):他の皆さんがレフェリングを上手くやっていただき、自分も大きなミスなくできました。選手もお互いをリスペクトしたプレーをしていて、良い決勝戦だったと思います。

Q. 審判仲間に何かメッセージをお願いします。

藤崎:フットサル審判に興味がある方がいらっしゃれば、是非審判資格を取っていただき、フットサルを楽しみながら、一緒に審判ができる仲間が増えれば良いなと思います。

高萩:フットサルの審判が少ないのが現実です。フットサルの審判に興味をもっていただき皆さまに行っていただきたいですね。特に若い人達に…。私はサッカーの審判も行っていますが、サッカーの審判の上達にもつながると思います。

木村(尚):サッカー審判仲間の中でもフットサルの認知度が低いかな?と思います。フットサルの審判技術は、サッカーでも生かせるし、その逆もあるので、多くの方にフットサル審判を経験してもらいたと思います。

木村(拓):自分はフットサル審判として活動していて、サッカー審判はやっていませんが、サッカー審判の方にも興味を持っていただき、フットサル審判員が増えれば嬉しいです。

第37回JAバンクカップ・チバテレビ旗争奪千葉県少年サッカー選手権大会決勝戦

2014年11月23日(日)13:30キックオフ ~ フクダ電子アリーナ ~

柏レイソルU-12 3(2-0、1-0)0 柏レイソルA.A.TOR'82

主審:池田浩康氏、副審:高峰夏樹氏、阿部正臣氏、第4の審判員:中島智広氏(文中敬称略)

2014年11月23日に「JAバンクカップ・チバテレビ旗争奪千葉県少年サッカー選手権大会」の準決勝2試合と決勝戦がフクダ電子アリーナで開催され、決勝戦で主審を務めた池田 浩康(いけだ ひろやす)氏、副審1の高峰 夏樹(たかみね なつき)氏、副審2の阿部 政臣(あべ まさおみ)氏、第4の審判の中島 智広(なかしま ともひろ)氏の4名に試合後にインタビューを行いました。



(左から 中島氏、阿部氏、高峰氏、池田氏)

Q.本日は千葉県の少年サッカーの頂点を決める大会の審判としてお疲れ様でした。決勝戦を担当することが決まった時にどんな気持ちで、当日までどんな準備をしましたか？

池田:連絡をもらった時には主審とは思わなかったので、主審と聞いてビックリしました。準備としては特別なことはせずに普段通りで行こうと思いました。

高峰:中村さんから連絡をもらい、こんなに大きな大会を担当させてもらうということでビックリしましたが、自分の力になると思い引き受けました。特別な事はせず普段の自分の力を出せるように心がけました。

阿部:4種の6年生の最高レベルの試合の決勝戦ということで光栄に思いました。主審のサポートをしっかりと、審判団として楽しんで、いつも通りに出来るように心がけました。

中島:少年サッカーの最後の大きな大会の決勝ということで喜びと共に緊張感もありました。準決勝の主審も割り当てられたので、その準備も含めてトレーニングしました。

Q.普段はどんなカテゴリーで審判をしていますか？今回は4種ということで普段と違って心がけたことはありますか？

池田:2年前から県の派遣も受けているので、3種から1種までに行っているし、4種のコーチもしているので広く活動しています。今日は緊張して周りに吞まれないように心がけました。

高峰:1年前から4種で活動しています(高峰さんは現在中学生)。普段の自分の力を出せるように心がけました。

阿部:3種が中心で2種や1種も担当することがあります。今日は4種でもレベルが高い試合で、3種での経験を生かしてスピードにもついていけました。

中島:普段から様々なカテゴリーで活動しています。今回は4種でいつもとはファウルの起こり方とかが違うこともあるので、選手の意図を考えてジャッジしようと思いました。



Q.今日の試合の感想を各担当の目線からお聞かせください。

池田:両チームの頑張りを出させてあげたいと思いましたが、フェアプレーで決勝戦にふさわしい内容で気持ち良かったです。

高峰:ボールをつなぐのが上手い両チームの特徴が出た試合だったと思います。

阿部:お互い兄弟チームなので日頃からよく交流があるのだな！と試合を通じて感じました。その中で両チームが良いところを出そうと頑張っていたと思います。それに負けずにレフェリーチームもコミュニケーションをよく取れていたと思います。

中島:面白かったです。小学生とは思えないくらい上手でした。

Q.最後にこのレフェリーニュースを見ている審判員に一言お願いします。

中島:いつもお世話になっており、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。楽しくやりましょう！(笑)

阿部:これからもいろいろな大会で会う事があると思うので、その時はよろしくお願いします。

高峰:自分自身、審判を始めて短いので分からないこともたくさんありますが、これからも頑張りたいと思います。

池田:審判をやっていると様々な出会いがあって楽しいし、レフェリーニュースを見ているといろいろな活動の紹介があって毎回楽しみにしています。そんなニュースに取材されて光栄に思いますし、今後もサッカーに携わる多くの人との出会いがあればいいな！と思います。本日はありがとうございました。

みなさん、決勝戦の緊張から解かれた安堵感と審判チームとしてやりとげた充実感で非常によい表情で、和やかにインタビューができました。ありがとうございました。

平成26年度第93回全国高校サッカー選手権大会千葉県大会決勝

2014年11月16日(日)13:05キックオフ ～ ゼットエーオリブスタジアム ～

流通経済大学付属柏高等学校 3(0-2, 3-0)2 船橋市立船橋高等学校

主審:金次雄之介氏、副審:竹中健太氏、平野裕大氏、第4の審判員:小栗山浩史氏(文中敬称略)

千葉県の誇る強豪校同士の対決となった今年の決勝戦。
市立船橋が前半、少ない好機にシュートが相手に当たって方向が変わったり、相手が1人少なくなっている時間帯のスキを突いて得点を挙げてリードするも、徐々に流れを引き寄せた流経大柏が後半にコーナーキックから1点を取り返し追いつき、そのまま逆転を果たして4年ぶりの全国への切符を手に入れました。この大一番を任された審判団の皆さんにお話を伺わせていただきました。



(左から 竹中氏、金次氏、小栗山氏、平野氏)

Q.金次さんは、以前、高校選手権の千葉県決勝を吹きたい、と仰っていましたが、その目標が叶って如何ですか?

金次:自分もこの舞台を目指してきた1人なので、やっぱり決勝の舞台というのは特別なものというのがあると思うのですが、正直いつも通りの試合に向けての準備をやってきただけの話で、いつも通りのトレーニングメニューを組んで臨みました。いろんな判定とか選手の思う部分とこちらの思う部分と違うところがあるかもしれないですけど、自分の中では自分の持てる力を出し切った、と思っています。



Q.副審と4thの皆さんにお伺いします。このゲームについて、どのように捉えていたか、また終えて感じていることを聞かせてください。

竹中：一番は、副審の仕事である主審を援助する、というところを出来るよう頑張ろうと。具体的には自分が主審をやっていて、こういう時にフラッグアップしてくれたら助かったとか、こういうところのファウルとかを見てほしいな、ということを事前に整理しておいて、事象があった時に主審を援助していきたいな、と思って試合に臨みました。

平野：割り当てをいただいたときから、わあ、すごい、と。会場入りした時からこの雰囲気慣れよう、と。緊張はあったんですけども、普段の割当やトレーニングから自分がやってきたことをそのまま出して背伸びせず、主審を様々なところで援助して行けたら、と試合に臨みました。

小栗山：主審と副審のサポートが出来るように、これまでの4審を行ってきた経験の中で、想定し得るいろんなシーンでサポートできるよう心掛けながらゲームに臨みました。



Q.小栗山さんは、高校の先生で、これまでも何回か決勝の4thに入られたことがあると思いますが、この選手権の決勝というのはやはりほかの試合とは違う格別なものでしょうか？

小栗山：はい。毎回緊張感が襲ってきて、今はホッとしています(笑)。

Q.2015年に向けての抱負をお願いします。

金次：自分の中では、まだ今シーズンの試合が残っているので、まずはそこをしっかりと務めていくことと、(高校選手権は)全国大会にも参加するので、そちらの方も一試合一試合、選手にとっては負けると終わり、という決勝戦のようなものなので、そういった思いで、まずは目の前の試合を一つ一つやっていきたいな、という気持ちです。

竹中：今シーズンは関東トレセンで活動して、1級審判員を目指しているという環境の中でやらしていただいているんですが、自分をもっと本気にならないといけないな、というのを今年一年間で大きく感じています。そのトレセンの活動もあと1回あるのでしっかり臨んで、今年学んだことを来年自分が1級受験するんだ、くらいの気持ちで(審判活動に)取り組んでいきたいと思います。

平野：今回こういう経験をさせていただいて、自分の中で大きな財産となったので、来年もいただいた割り当てを一つ一つしっかり取り組んで、またいつかここに呼んでいただけるように過ごしていきたいと思います。

小栗山：普段は指導者として活動する機会が多いので、こういう経験(審判としてサッカーに関わる魅力)を指導する高校生に伝えていきたいと思います)。

僕たち、レフェリーハイスクールstudents!

JAバンクカップ・チバテレビ旗争奪千葉県少年サッカー選手権大会決勝戦が行われていた日は、決勝戦に先立って準決勝も行われており、決勝戦で副審を務めた高峰さんのほかにもう1人の中学生レフェリー鈴木壘さんも副審を務めて、大会の円滑な運営にご協力いただいていた。2人は千葉県4種委員会の審判部で一昨年の夏から立ち上げた若手審判員育成プロジェクト『レフェリーハイスクール』で選手活動も行いつつ審判活動も両立させています。

今回はお2人にもお話を聞かせていただきました。(文中敬称略。)

Q. どうしてレフェリーハイスクールで審判活動を行ってみようと思ったんですか？

鈴木: (4種2ブロックの) 中村俊人さんに誘われて始めました。

高峰: 私も、昨年流山市内の大会で副審をやらせていただいているときに、中村さんに誘われたのがキッカケです。

Q. 審判を始めて気づいたことがあれば教えてください。

鈴木: プレーヤーとしてではなくサッカーを外から見ると、ファウルの感覚が違うかなー、と思いました。

高峰: プレーヤーとしてはFWをやっていますが、プレーするサッカーと、審判として見るサッカーは違うなー、と。

Q. プレーしていてワクワクするシーンや、審判してワクワクするシーンがあれば教えてください。

高峰: 1点ビハインドのシーンから、自分が得点して追いついたシーンが印象的な思い出として残っていて、審判をしていても試合展開がそうなったときにワクワクします。

鈴木: ジャッジが正しく出来て上手くゲームコントロール出来ていると感じられる時です。

Q. 将来の目標を教えてください。

鈴木: Jリーグの審判員になりたいです!

高峰: 来年3級サッカー審判員試験を受験して合格することが当面の目標ですが、将来はサッカー関係の仕事につきたいと考えています!

…と、お話を伺っていると、審判の奥深さと、プレーすることとはまた違った魅力を十分に味わっている様子が感じられました。

4種委員会の審判部長の並木克之さんによれば、『レフェリーハイスクール』では小学生から高校生年代を対象に、普段は4種の県内8ブロック各地区の4種審判部員や審判インストラクター、ベテラン審判員の皆さんが、それぞれのブロックで育成・指導を行っているそうです。選手としてだけでなく、審判という異なった角度からもサッカーを楽しむことに興味がある方は、並木さん(namiki2917@nifty.com)までお気軽にお問い合わせください。



(この日の担当審判員、篠塚チバテレビ編成局長(後列一番左)、並木4種委員会審判部長(後列一番右)と。前列左 高峰氏、前列真ん中 鈴木氏)

更新講習会のお知らせ(サッカー)

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

4級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
2月22日 (日)	17:30～ 18:00	18:00～ 21:00	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	160名	有り	Web参照

3級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
2月22日 (日)	17:30～ 18:00	18:00～ 21:00	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	90名	有り	Web参照

2014年度 更新講習会お知らせ(フットサル) (フットサル3級インストラクター)

インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
2月11日 (祝)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	実技	千葉県総合運 動場 体育館	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	4名	有り	Web参照

帯同審判員対象フォローアップ研修会

2015/2/15(日) 研修時間 19:00～21:00(予定) 会場;大網白里アリーナ

カテゴリー審判員対象研修会

2015/3/23(日曜日) 研修時間 15:00～17:00 会場;大網白里アリーナ

●JFAラーニングについて●

(公財)日本サッカー協会では、更新講習会などの集合形式での学習時間の都合等で難しい方でも同等の内容が学べるよう、インターネットで動画や文字を用いた教材を配信する更新講習(「JFAラーニング」という)が開始されています。

審判員の受講機会を増やすとともに利便性を向上することを目的にWeb上で受講することができる更新講習会です。

今年度も「サッカー4級審判員」「フットサル4級審判員」に向けて開設されています。

サッカー4級:2015年2月22日までに受講完了する事

フットサル4級:2015年2月22日までに受講完了する事

申込期間、受講期間はKick offの講習会情報でご確認ください。

2015年度 資格新規取得講習会のお知らせ(サッカー)

インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

※2015年4月1日からの資格となりますのでご注意ください。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
2月11日 (祝)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	160名	有り	Web参照
3月15日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	160名	有り	Web参照
3月22日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター 駅」徒歩10分	160名	有り	Web参照

2015年度 資格新規取得講習会お知らせ(フットサル)

2015年3月 開催予定

2015年4月 開催予定

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

2015年度 第1回 サッカー2級審判員推薦審査のお知らせ

(この推薦予備試験は2015年10月に行われる関東協会2級昇級試験のための予備テストです)

2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1. 資格要件

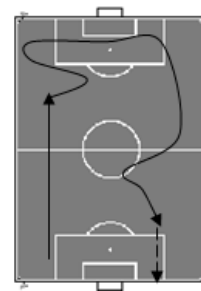
- (1) 受験資格：2015年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること
 - ① サッカー3級審判員として30試合以上の審判を行っていること。
 - a. 30試合のうち、20試合以上主審を務めていること。
 - b. 4種の試合について(8人制を含む)は、1日2試合まで審判実績として計上できる。
 - c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まないものとする。
 - ② サッカー2級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。
 注意：顕著なサッカー歴については(公社)千葉県サッカー協会が判断する
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
 2級審判員昇級後は、(公財)日本協会や関東協会、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 関東サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

- 第1次審査：書類審査
 - ① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
 - ② 昇級認定審査参加申込書による。
※審判委員会ホームページの推薦審査(S2)申込書を使用して提出
- 第2次審査：第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
 - ・ 2015年4月実施予定
 - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
 - ・ 体力試験 40m走(6.9秒以内)×6回、
150m(40秒以内)+50m(50秒以内)のインターバル走、16回連続で走ること
 - ・ 講義『第2次審査当日合否発表後』合格者に2級審判員として必要な講義を約2時間実施する
- 第3次審査：第2次審査合格者に対して、実技審査を実施
 - ・ 2試合以上実施する。2試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。



※ 開催日時、試験会場等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

2015年度 第1回 サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ

2015年度、第1回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2015年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること
 - ① サッカー4級審判員として10試合以上の審判を行っていること。
 - a. 10試合のうち、8試合以上主審を務めていること。
 - b. 4種の試合について(8人制を含む)は、1日2試合まで審判実績として計上できる。
 - c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まないものとする。
 - ② サッカー3級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。
注意：顕著なサッカー歴については(公社)千葉県サッカー協会が判断する
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
3級審判員に昇級後は、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) (公社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

- 第1次審査：書類審査
 - ① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
 - ② 昇級認定審査参加申込書による。※審判委員会ホームページの昇級認定審査(S3)申込書を使用して提出
- 第2次審査：第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
 - ・ 2015年4月実施予定
 - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
 - ・ 体力試験 150m(50秒以内)+50m(60秒以内)のインターバル走、12回連続で走ること
 - ・ 講義(第2次審査当日合否発表後)、合格者に3級審判員として必要な講義を約2時間実施する。

※ 開催日時、試験会場等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

2015年度 第1回 フットサル2級審判員推薦審査のお知らせ

(この推薦予備試験は2015年10月に行われる関東協会2級昇級試験のための予備テストです)
2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1. 資格要件

- (1) 受験資格:2015年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー2級審判員、あるいはフットサル3級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること
 - ① フットサル3級審判資格取得後1年以上で15試合以上の審判を行っていること。
15 試合の基準:都道府県リーグ 2 部以上のフットサルの試合を主審あるいは第 2 審判として審判したものを計算する。
 - ② サッカー2級審判員。
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前 1 年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
2級審判員昇級後は、(公財)日本協会や関東協会、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 関東サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

- 第1次審査:書類審査
 - ① 審判実績確認:審判手帳のコピー提出による。
 - ② 昇級認定審査参加申込書による。※審判委員会ホームページの推薦審査(F2)申込書を使用して提出
- 第2次審査:第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
 - ・2015年4月実施予定
 - ・筆記試験(競技規則等に関するもの)80点以上
 - ・体力試験 1,000m走(4分40秒以内)×1回、スピードテスト10m(12秒以内)×2回、
アジリティーテスト30m(23秒以内)×2回
- 第3次審査:第2次審査合格者に対して、実技審査を実施
 - ・3試合実施する。3試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

※ 開催日時、試験会場等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

2015年度 第1回 フットサル3級審判員昇級認定審査のお知らせ

2015年度、第1回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1) 受験資格:2015年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員、もしくはフットサル4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること
 - ① フットサル4級審判員の資格認定を受けた後の審判試合数が主審、第2審判15試合以上の経験を有すること。1日2試合を限度とする。
 - ② サッカー3級審判員
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前 1 年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

3級審判員に昇級後は、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) (公社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

- 第1次審査：書類審査
 - ① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
 - ② 参加申込書による。※審判委員会ホームページの昇級認定審査(F3)申込書を使用して提出
- 第2次審査：第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
 - ・2015年4月実施予定
 - ・筆記試験(競技規則等に関するもの) 70点以上
 - ・体力試験 1,000m走(5分30秒以内)×1回、スピードテスト10m(14秒以内)×2回、アジリティーテスト30m(26秒以内)×2回

※ 開催日時、試験会場等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

3級審判インストラクター更新講習会のお知らせ(サッカー)

2014年度第3回のサッカー3級インストラクター更新講習会(講義)を開催いたします。まだインストラクター資格を更新されていない方で、2015年度も引き続きインストラクターとして活動を希望される方は必ず受講して下さい。

また、当日は前回のレフェリーニュースでお知らせいたしました3級インストラクター認定講習会(認定試験を含む)も実施します。

なお、受付時間・講習会場等の詳細については、後日、該当者宛に直接メールと郵送でお知らせいたします。

- ◆ 開催日時 2015年3月上旬の日曜日 9時30分～16時(予定)
- ◆ 場 所 後日連絡
- ◆ 講習形式 講義(プラクティカルを実施する場合もあり)
- ◆ 講習会費 審判資格有 ¥4,000 審判資格なし ¥6,500
(第1回あるいは第2回更新講習会で既に更新済の方は無料)

注：終日受講しての更新となります、途中退席はできません。

Congratulations! (敬称略)

受賞おめでとうございます。

- 2014年度プレナスなでしこリーグ最優秀審判賞：山岸 佐知子

昇級おめでとうございます。

- サッカー2級審判員：水間 健太、山崎 久
- サッカー3級審判員：阿部 勝広、石塚 秀、井関 純、大友 聖樹、加藤 大至、小林 順、齊藤 倫也、坂 圭祐、志和 大貴、都築 泰光、西村 元気、根本 将志、長谷川 浩志、町田 皓、溝口 清二、室伏 航、矢崎 聖

皆様方の今後益々のご活躍を期待しております。

目指せ！！全日本少年全国大会！

育成部長：右田 智也

あまり知られていませんが、全日本少年サッカー大会の全国大会は、各都県からのユース審判員で運営されています。来年度の同大会への千葉県派遣推薦を目指して、8/30(土)：千葉市立千葉高校、8/31(日)：千葉市立有吉中学校にて「ユース・若手審判員研修会」を実施しました。参加者からの感想が寄せられていますので、以下にご紹介します。



○坂本 溪吾(柏市)

昨年に続きユース研修に参加させていただきました。今回も自分にとってとても内容の濃いものとなりました。トップクラスのレフェリーの方々に色々なアドバイスをもらいながらレフェリーをみてもらうことが少なかったのもとてもいい経験になりました。試合については、まず一つ一つの試合にテーマをもってやるということが一個宿題でした。私自身は笛に説得力を持たせることをテーマにしましたが、説得力を持たせるには説得力のある位置でプレーをみる必要があり、とても大変でした。この研修会は同年代の方々が多く、10代ならではの話しや、色々な情報を交換するいい機会でした。そしてレフェリーとして色々な人と関わっていくなかでユース年代の一人として一歩成長できた研修会だったと思います。

○藤沢 優(佐倉市)

研修参加者と顔を合わせた時に比較的年下の人が多く、自分が彼らに「何を伝えられるだろう」ということを考えさせられました。初日は午前中に「イエローカードとレッドカードの意味」についてディベートを行い、イエローカードは「起こっては困るが起こりうる反則」への提示という結論に対し、レッドカードは「その反則が再び起こった場合、新たなケガ人等を出さぬための危険性排除」という結論が出されました。普段何気なく提示をしていたものを(もちろん競技規則に則ってですが)、改めて原点に立ち返って見ると、とても難しい議題だったと思います。この2つが必ずしも正解というわけではないですが、今後のカード提示時の参考になるのは間違いないものでした。初日の午後と2日目はひたすら実技研修。自分の甘さや足りないところ、また出来ている点をレクチャーしていただき、今後の課題を見出すことが出来ました。当面の課題は「考えて走る」です。ボールを保持している選手は次にどこへ蹴るか、今後の展開はどうか。「考えて走れ。」元日本代表監督イビチャ・オシム氏の言葉ですが、これは選手だけでなくレフェリーにも通ずるものがあると痛感しました。また今年は研修参加者でチームを組み実際にサッカーをプレーしました。初めて組んだにしてはなかなかの連携だったかな…と思います。連携はレフェリーをする際にとても大切で、今回僕は、今年の研修で学んだ「アイコンタクトの大切さ」を後輩たちに伝えたいと意識していましたが、プレー中はもちろん、レフェリー時にもとても良いコミュニケーションが計れたと感じています。来年度、またレベルアップした仲間たちに再会できることを楽しみに、次回の研修では自分も成長した姿を見せられるよう、日々精進していきたいと思っています。2日間という短い期間ではありましたが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

○鈴木 克正(船橋市)

初めての泊まりでの研修でしたが、千葉県の審判仲間が増え、インストラクターの方々に色々指摘していただき大変になる研修でした！今年の10月で3級を取って来年のユース研修では3級でやりたいです。ありがとうございました。

○町田 皓(千葉市)

今回初めて若手研修会に参加させていただきました。2日間とも参加させていただきましたがフラッグの上げ方などを教えていただき大変勉強になりました。また競技規則をしっかりと理解して覚えていないと的確な判断が出来ないことはもちろん、冷静に試合を進めていくことも難しくなることを学びました。今後は部活動のときはサッカーをし、部活が無いときには競技規則を覚えたりして、審判活動をして行きたいと思っています。

○齊藤 丈(東金市)

昨年に続き今年もユース研修会に参加させていただきました。今回は前回に比べ、人数が少なかったのですが、昨年以上に充実した内容となりました。今回の研修では、主審2試合副審4試合担当させていただきました。インストラクターの方に試合前の打ち合わせやシグナルの高さ、副審の時の視野など多々指摘していただいたところを今後の審判活動に生かし、より一層良いレフェリーとなれるよう頑張りたいです。2日間ありがとうございました！



新3級審判員実技研修会

育成部長:右田 智也

今年もまた新しい3級審判員が誕生しました。1日も早くワッペンの色に見合ったレフェリングを見せてください。また、地域のリーダーとして、活躍されることを期待しています。以下、参加者からの感想文です。

○小林 順(千葉市)

研修を受講してみて、自分はサッカーが好きで、レフェリングが好きなんだと改めて感じました。ふだんは、4種(千葉市小中台FC)のコーチをしながら、対外試合で審判をしています。今回は、女子リーグの主審を務めました。時間が70分と長く、広いコートで副審が遠く、前半はとまどい、ミスもありました。後半は気持ちを切り替えて、失敗することも勉強になると開き直り、楽しむことができました。試合後は、インストラクターのアドバイスが非常に参考になり、試合における1点の重みとそれを裁くことの大切さを感じることができました。最後に、副審、4審とリスクベクトルしながら試合をコントロールできたことに感謝します。

○石塚 秀(市川市)

千葉県女子サッカーリーグで主審を担当させていただきました。なるべく近い位置でレフェリングをしようと課題にして臨みましたが、近くに寄りすぎて選手のプレーの邪魔になってしまうことも多々あり、まだまだ改善していく必要があると感じました。また、プレーが停止されると選手が勘違いをしまい、ボールを手で拾い上げようとしていたこともありました。インストラクターの方からは声を出して伝えておけばあのようなことは起こらないという指摘があり、選手とのコミュニケーションの大切さを学びました。試合後の反省会では上級を取得することを前提でのアドバイスがあり、このことを今後のレフェリングに生かしていきたいと思えます。AR1の大友さん、AR2の竹内さん、インストラクターの皆様、ありがとうございました。

○阿部 勝広(市原市)

今回、このような研修の場に参加させていただきありがとうございました。私自身小学生からサッカーをはじめ、40歳前にした現在も地域リーグ等でサッカーを楽しんでいますが、これまで一度も審判の指導をうけたことのない、車でいうとペーパードライバー。そのため今回の研修に参加させていただき、多くの気づきを得ることができました。私は主審をやらせていただきましたが、インストラクターの稲葉さんから基礎的な事項について指導していただき、自身の審判員としての未熟さを痛感するとともに、今後の審判活動に向けた技術と知識の向上が必要であることを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。



大好評！！シニア審判員研修会

育成部長：右田 智也

11/1(土)～/2(日)にかけて、毎年恒例のシニア審判員研修会を実施しました。4級取得したばかりのホヤホヤ審判員から、2級を目指すベテラン審判員まで、幅広い方々が参加されました。1日目は雨天のため、当初のスケジュール通りにはいきませんでした。急遽競技規則の確認テストを実施。参加のみなさんにはいい刺激になったのではないのでしょうか。参加者のみなさんからの感想文をご紹介します。



○工藤 美和(船橋市)

この度、研修会に参加させて頂きました船橋市の工藤と申します。

昨年は、新3級研修とシニア研修が同時開催となっており、新3級研修生としての参加で、1日のみでしたが、今回は宿泊研修に参加したいと思っていて、今回、宿泊研修の2日間に参加させて頂きました。1日目の8人制の大会は、悪天候の為中止となってしまいましたが、会場に来ていた小学生チームや、練習に来ていた中学生のチームご厚意により、練習試合を行って頂き、実技研修会を行える事となりました。私は、中学生チームの主審の割り当てを頂き、副審の方々とチームを組ませて頂きました。実際にレフェリーを行う中で、ファウルを予測出来ないことによる見落とし、近くで見ているだけでは分からないということを実インストラクターの方に教えて頂きました。国際審判の五十嵐さんには、副審との打ち合わせについての助言や、実際にJリーグ審判での貴重なお話などして頂きました。その後は、不得意なルールテスト。あらためて一から勉強し直さないといけないと認識させられました。夜の懇親会では、映像による色々なファウル場面を見ながらみんなで話し合いをしました。2日目の研修では、4審と主審の割り当てを頂き、4審はレフェリー以上に難しいものだと思実感しました。主審の際には、あまり経験のない方との組み合わせだったため、アウトオブプレーのシグナル、オフサイドラインのキープをお願いし、副審サイドもくいで見るように心がけました。試合後インストラクターの方に色々助言を頂き、シグナルや体の向き、位置、ファウルの予測等色々ご指導頂きました。本当に、インストラクターの方に見て頂くことはとても重要な事だと実感しました。今回、宿泊研修に参加する事が出来とても良かったと思います。あらためて、スタッフの方々にこの場をお借りいたしましてお礼申し上げます。ありがとうございました。来年も是非参加させて頂きたいと思います。

○野中 武(千葉市)

今回の研修は、自分自身の出来が非常に不甲斐ないものであった点を除けば(汗)、本当に受講してよかったと思えます。今回の研修をしっかりとチーム及び自分自身に活かせるように、これからも努めて参りますので引き続きご指導いただきたく、他の皆様にもよろしくお伝えくださいませ。

○中山 雅之(千葉市)

昨年に引き続き2度目の参加となりますが、育成部及びスタッフの皆さん、毎年の研修開催ありがとうございます。私の審判活動は4種(HAMANO JFC)の帯同や、県の割り当てを行っており、今回の目的は日ごろの疑問点や自分の課題に対するアドバイスを頂くために参加致しました。初日は午後から筆記試験を実施し、以前覚えていたはずの競技規則を意外と忘れてしまっていることが反省でした。その後、旅館での勉強会では試合の映像を見ながら、各プレーに対してファウルの有無やカードの有無等について解説頂き、その中でも『プレイヤーの意図を考える』との言葉

が自分の中で非常に勉強になりました。翌日の実技では開始前に自分の今の課題を伝えて、試合後にそれに対するアドバイスをたくさん頂くことが出来き、早速その後の活動で少しずつ実践させて頂いています。最後に2日間を通してスタッフの皆さんや受講した皆さんと交流出来たことが今後の審判活動の中で大きなプラスになることと思っています。また来年もレベルアップのため参加したいので、開催をお願いします。よろしくお願ひ致します。

○篠原 優勝(千葉市)

今回のシニア研修会は、実技での指導を受けられるとの事で申込みをしました。実技では、副審がメインでしたがインストラクターから指導、他の審判員の方たちからのご意見もいただき、とても充実した時間を過ごせました。今回の研修では、「動く(走る)事」、「コミュニケーション」の重要性を感じました。あと、競技規則が十分に理解できていないことが、分かりましたので日々の勉強、トレーニングで良い準備をしたいと感じました。

○結城 三世子(市原市)

最初に、指導してくださいましたインストラクターの皆様、ありがとうございました。審判経験の浅い私は、せめて更新の時にでも実技講習を受けるべきだ。と思い、今回の研修に参加する事にしました。ベテラン審判の皆さんと一緒に研修で緊張のし通しでしたが、皆さんの“何かを学んでいこう”という姿勢に、次第に自分も楽しんで参加する事ができました。失敗もたくさんしましたが、この経験を活かしていきたいと思っています。緊張の連続でしたが、本当に参加して良かったと思っています。良い研修会を開催していただき、ありがとうございました。

女子部初心者研修

11月22日(土)恒例の女子部初心者研修会が行われました。

習志野朝日旗3年生大会予選リーグをお借りしての研修会には、お子さんのチーム、また御自分の参加しているチームの帯同審判をされている方から、審判を初めてする方まで16名の参加がありました。11月下旬ではありましたが、好天に恵まれ4名のインストラクターのご指導の下、有意義な研修になりました。



〈研修生の感想(抜粋)〉

- ・主審にチャレンジできてよかった。
- ・アイコンタクトの大切さがわかった。
- ・副審を初めてやったので、ピッチ内とサイドを走るのはかなり感覚が違った。
- ・11人制は初めてだったので勉強になった。
- ・課題が見えたので、これからも経験を積んでミスを怖がらず堂々とできるよう頑張りたい。
- ・普段疑問に思っていることや、聞きたくても聞けなかったことが確認できてよかった。
- ・一つ一つ欠点を克服し、次の機会があれば、もっと自信を持って行えるようにしたい。
- ・高校生やベテランの審判員と知り合えてよい刺激を受けた。
- ・競技規則をしっかり読み直したい。
- ・女性だけの研修会は参加しやすい。

感想の内容から、研修生の皆様の前向きな意欲が伝わってきます。

インストラクターやスタッフへの感謝の記述も多くありました。意欲のある皆様の参加に感謝いたします。

また、毎年のようにこの研修会にご協力いただいている、習志野市サッカー協会4種委員会の皆様や各チーム関係の皆様に感謝申し上げます。

2015年度 永年功労表彰のご案内

(公社)千葉県サッカー協会審判員として登録後、2014年12月31日現在で10年間、20年間並びに30年間、審判活動を続けられた方の表彰を行います。該当する審判員の方は、(自薦又は他薦を問いません)2月13日(金)までに、氏名、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、登録年月及び活動状況を記載の上、下記までご連絡下さい。

〒260-0007 千葉市中央区祐光1-14-1 大林フローラ407

村上 匡 (宛て)

E-mail : ta_da_shi1985@yahoo.co.jp

●都市協会だより● 各都市より毎回ホットな話題を直接お届けします。

【君津市】では、例年11月に開催していた審判実技更新講習会を、本年度は9月27日に市内の6年生大会を利用して開催しました。日頃、4種で活動されている木更津市、遠くは鴨川市から多くの審判員が受講されました。

参加された審判員の方々は、選手達の走りに負けず劣らずグラウンドを走り回っていました。反省会では、並木、牛尾インストラクターを交え、お互いの意見交換もでき有意義な講習会を開催することが出来ました。

並木、牛尾インストラクターには的確な指導とアドバイスをいただきありがとうございました。

なお、11月下旬にも実技更新講習会を開催します。今回の講習会以上に有意義なものにしたいと思います。

今後、君津市では若手審判員の発掘の為に新規取得更新講習会の開催も計画したいと考えています。その際は、皆様方のご協力をお願いいたします。 <君津市サッカー協会 第4種委員会 審判担当 長嶺 和男>

日本サッカー協会からの重要なお知らせ

★ Kick Off リニューアル ★

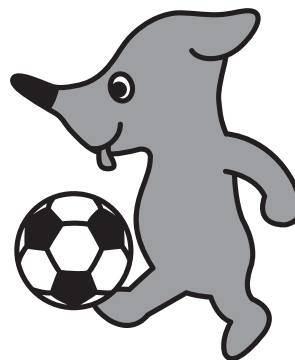
登録審判員全員、Web登録システムに登録する必要があります。

各自で、Eメールアドレスを登録し、JFA IDを取得します。

これにより、審判員、指導者、選手といった、複数登録者は、一つのIDで「Kick Off」にアクセスできます。ご参照下さい⇒ <http://cfa-referee.lolipop.jp/rn/rn201407.pdf>

広告主さま募集しています

- 千葉県内約8千名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
- 募集枠は、1枠 (1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
- この枠が1枠の大きさの目安です。
詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局 (TEL 043-310-4888) にご連絡をお願いいたします。



編集後記

初めてレフェリーニュース編集を担当させていただきました。皆様に身近に感じていただき、活動の一助となりますように編集員一同知恵を絞って参りますので、ご意見・ご要望等是非ともお寄せいただければと存じます。本年もどうぞよろしくお願い致します。(Atsu)

レフェリーニュース編集員

渡邊 芳敏 編集責任者

E-mail : chb-fa@ra2.so-net.ne.jp

伊藤 欽一

E-mail : kincfa@orange.plala.or.jp

大西 正一

E-mail : m.oonishi@kib.biglobe.ne.jp

唐崎 敦好

E-mail : megusta_futbol@kxf.biglobe.ne.jp

木川 綾

E-mail : imp1818@keh.biglobe.ne.jp

長谷川 鉄哉

E-mail : jef_hasechan@tbz.t-com.ne.jp

公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会

<http://cfa-referee.lolipop.jp/>